

ここでは紹介しきれないたくさんの人の活躍がありました。本当にありがとうございました。



Public relations
OZU TOWN

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ 6

JUNE 2016

町村合併 60 周年記念

今月の表紙

5月22日に行われた大津中学校での体育大会の一コマ。応援団の各団長が集まり、青い空の下、熱い宣誓をしました(記事は29ページ)。

広報 おおづ 2016 6

発行・編集 大津町・総務課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報のおおづは職員に配属して再生紙と植物油・インクを使用しています。

UD FONT
易やくく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



今日がかけがえのない日になるように

4月14日に突然、熊本地方を中心に襲った地震。平成28年熊本地震。大きな揺れを感じたあの日から復興に向けて頑張る町内外のたくさんの人たちをクローズアップする。

「友だちの家は塀が壊れたり大変だったみたいですが。僕の家は特に被害もなかったのですが、自分にも何かできないかなと思ってポランテアをしようと思いましたが」町運動公園でゴミを拾っていた高校生の言葉。

美咲野小学校には「こんなときだから」感謝の気持ちの大切さを小学生に教えるため、炊き出しのために台湾からのポランテア。

「春はまだ寒いから」と温かいラーメンを届けるために車を20時間走らせ、一週間、駅前で集めた募金を届けに来た人も。

町運動公園に設置された大津町ポランテアセンターには多くの励ましのメッセージもあり、通り過ぎる人たちの心を打つ。

未だに家に帰ることができない人のために「自分も避難民だけど」と笑いながら明るく避難所の運営を手伝う人がいる。

給水車の前に並び人が日に日に少なくなり、「少しずつ復旧してきているということですね」と笑顔をごぼす自衛隊員の姿。

復旧のため、他の地域から派遣された自治体の職員。日中の照りつける太陽の中、泥にまみれてごみの山を整理する。

一日も早い復旧のためにそれぞれの立場で必死に汗を流す姿に心を動かさずにはいられない。震災を乗り越えた私たちの次の仕事は「明日を作る仕事」いただいた皆さんの温かい気持ちを胸に一人一人の一步を踏み出そう。

つづきの声

▼久しぶりに災害関連以外の取材にいきました。それが大津中の体育大会。参加する生徒も応援する保護者も笑顔にあふれていたのがとても印象的でした▼「頑張らずに頑張る」自分のいた避難所でのスローガン。一緒に震災を乗り越えた町民の皆さんと共に頑張れたら幸せです▼あと、震災で気づいて良かったこと。「握手」の力です。ごいすね。「頑張れ」の言葉と共に多くの人と握手しました。力を分けてもらった気がします。この力を次の誰かの為に(IDEO)

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



今月のみどころ

復旧にむけた手続き

熊本地震で被災された皆さんへ復旧のための支援のご案内です



18歳。だから、投票に行く